

平成 19 年 10 月 24 日

各 位

## アールアンドアール株式会社

<当社プロジェクトが医薬基盤研究所の平成 19 年度研究委託事業に採択>  
— RR210 の臨床試験開始へ—

独立行政法人医薬基盤研究所（以下「医薬基盤研究所」）では、平成 19 年度事業として、画期的な医薬品・医療機器の研究開発を支援することを目的とする「医薬品・医療機器実用化研究支援事業（委託事業）」を公募しておりましたが、この度、当社の「5-HT3 受容体パーシャルアゴニスト（開発コード：RR210）の過敏性腸症候群治療薬としての開発」が、同事業に採択されましたのでお知らせいたします。

当社は既に、RR110（タミバロテン）のクローン病を対象とした臨床試験（PIIa）に取り組んでおりますが、これに加え、同事業に採択されたことから、今年度中に RR210 の過敏性腸症候群治療薬開発を目的とした臨床試験を開始することとなりました。

RR210 は、既にヨーロッパで第 I 相単回投与試験を実施済みであり、今後反復投与試験で安全性・忍容性と薬物動態を確認した後、患者での有効性を確認する（Proof of Concept : POC）予定です。

過敏性腸症候群（Irritable Bowel Syndrome : IBS）は、消化器の運動や分泌機能が異常を来す疾患で、激しい腹痛と便秘や下痢などの症状を呈しますが、器質的異常は認められません。その発症機構は複雑ですが、精神的ストレスの関与が示唆されています。本疾患には、便秘を繰り返す便秘型、下痢が続く下痢型、便秘と下痢が交替する混合型があります。患者の生活の質（Quality of Life : QOL）が極めて低い疾患なのですが、現行の治療法は未だ満足のものではありません。RR210 が対象としている下痢型および混合型は潜在患者数が非常に多く、本化合物の IBS 治療薬としての開発は、保健医療並びに医療経済学的に極めて大きい意義があるものと考えます。

当社は本委託事業において、医薬基盤研究所から RR210 の臨床試験に対する資金的援助を、3 年間に亘って受けることとなります。本年度については、1 億円の援助を開発費用に盛り込んでおります。

<RR210 について>

RR210 はセロトニン 5-HT<sub>3</sub> 受容体に対するパーシャルアゴニストです。5-HT<sub>3</sub> 受容体は、消化管の運動（収縮と弛緩）による食物の攪拌・消化や蠕動運動に密接に関連しています。5-HT<sub>3</sub> 受容体拮抗薬は副作用による制限付ではありますが、米国で下痢型の治療薬として用いられています。パーシャルアゴニストとしての RR210 は、腸管の蠕動運動を正常レベルに残存させながら過剰な下痢症状を抑制することで、副作用の少ない IBS 治療薬となることが期待されます。

<アールアンドアール株式会社について>

当社は、医薬品素材を保有する薬学研究者、高い医学応用技術をもつ医学研究者及び医薬品開発のスキルを身に付けた製薬企業出身者が、難病の治療法開発を通じた社会貢献を目的として、平成 17 年 2 月に設立した創薬ベンチャーです。核内受容体リガンドを中心に、豊富な開発パイプラインを保有しており、最新科学を駆使した探索的臨床試験において POC を得た後、製薬企業にライセンスアウトする予定です。

本 社 : 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー12 階  
資 本 金 : 2 億 9,435 万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 松石 哲郎  
事業内容 : 医薬品、医療機器、化粧品等の研究開発  
U R L : <http://rar.co.jp>

<問い合わせ先>

アールアンドアール株式会社  
経営企画室長 澤原 健吾  
電話番号 : 03-3500-5850

以 上